

## それはおかしい

最近の家を求める人は完成したところを見て契約する人が多い。だから資材や工事の進行などにはほとんど関心を示さない。それは逆に作る側の好都合となり、現場ではどんどん作業効率の良いやり方に変わっていく。屋根の軒が出てなくても、屋根・床が合板だらけでも、骨組みが集成材だらけでも、壁・天井が石膏ボードだらけでも、機械加工で柱ホゾが短くても、筋交いの代わりに面材が使われても、何の疑問も持たない。雨の中、びしょびしょで作業がされていても、床下に水が回り込んでいても現場に行かないから気付かない。それよりも引渡し時に床にキズがないかどうかのほうが気がなくなってしまふ。仕

上がったところがきれいな見えなところは見逃している。それは業者も重々知っているから突っ込まれないようにしている。のちに歪みが出ようともカビが出ようとも引渡しまでに問題が出なければ良しとする。まずは同業者に勝つことであり、競争を生き抜くためである。けしてそれは建て主さんのためではない。

## MY OPINION 289



ひたちなか市馬渡  
久保敏雄

### 10月の住宅セミナー

題名「失敗しない家づくり」

〈テーマ〉「工法の話」

■日時… 10月11日(日) 10時～12時  
茨城木材相互市場内研修室  
(水戸市渋井町50番地)

■料金…500円(税込)

お申し込みは  090-3148-9094

要予約